

## 事業計画書

|        |  |
|--------|--|
| 事業名    | 課題解決のストーリーができちゃう！つながるワークショップカード<br>～「+.action」(プラス アクション)～               |
| 実施場所   | 市内の施設等   |
| 実施予定期間 | ※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。<br>令和7年1月9日 ～ 令和7年3月31日 |

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください(事業の紹介などで使用します)。

市民活動の盛んな沼津を学生が更に活性化させたい！県外に沼津の魅力を伝えたい！と考え、セミナーで使ったワークショップカードをリニューアルして商品化。既存のカードに学生世代の要素を加えることと、裏面には、沼津の魅力である深海魚をデザインし、カードを商品化。今回、協力してくれている講師を招いて、完成したワークショップカードを使ったセミナーを開催。その場で、試験販売も開始。

## ◎目的

※事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)と、その解決のために何をするのかを記載してください。

市民活動やセミナーが活発な街、沼津をより活性化させると共に、沼津市内外問わずマチカツや沼津の魅力をPRしたい。また、学生でも、やれば何かできる！ことを実証することで、より若い世代から沼津やマチカツに触れ、未来の沼津をつくる一歩を目指す。

## ◎実施内容

| 日程 | 実施項目・作業項目  |
|----|--|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的活動の全容<br/>ワークショップカードを商品化する。</li> <li>・既存のワークショップカードに学生要素を加えたりリニューアル</li> <li>・裏面に、深海魚をキャラ化したものを学生がデザインする</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの内容<br/>ワークショップを通じて、解決したい課題に対して、カードを使って、資源を掛け合わせることで新しい解決策を模索するもの。<br/>今回の協力講師であるNPOチュラキューブの代表である中川さんが発案したワークショップで、自分に関わる「人」と「場所」の資源を棚卸し、それに「アクションカード」から強制的なアクションを加え、「人」×「場所」×「アクション」を掛け合わせ、課題解決のストーリーを創造し、実際の活動に生かすというもの。<br/>地域資源とアイデアのかけ算から、活動の可能性や創造性を生むもので、新規性が高く社会性がある企画を楽しみながら作れる。</li> </ul> |

今回具体的に行うこと

- ・アクションカードの商品化
- ・表面には、沼津の学生らしい要素を取り入れたアクションの追加を検討。  
例：地元のメディアに記事が掲載  
「ぬまつー」  
例：地元で開催しているマルシェに出店  
「週末の沼津」 など
- ・裏面には、沼津の宝である深海魚をポップにデザイン。深海魚を通じて沼津をPR。
- ・カードの説明書に加えて、深海魚や沼津のPRシートも作成しセット。

令和6年度 計画 主な項目

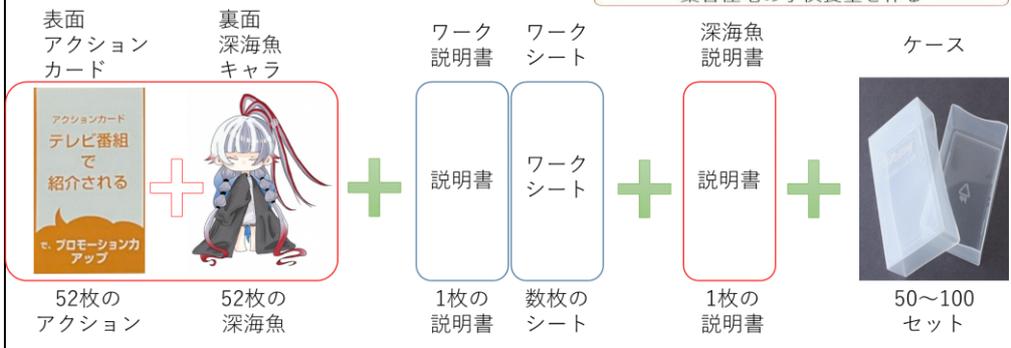
- ・ワークショップカードの作成
- ・市内にて、セミナーを実施
- ・ワークショップカードの試験販売

10月 プロジェクト立ち上げ

12月 ワorkshopカードの作成  
カードの利用方法、説明書の作成  
深海魚の説明書作成

1月 ワorkshopカードの発注、完成

2月 セミナーの実施、カードの販売



表面 既存のアクションカード例



裏面 キャラ化した深海魚の例



リュウグウノツカイ シーラカンス

アイデアコラボワーク

|   |                            |
|---|----------------------------|
| 解決したい課題   | 団地高齢者の孤食を支える               |
| 人の資源  | 力を貸してくれそうな人<br>影響力が強まりそうな人 |
| 場所の資源   | 活用できそうな場所<br>影響力が強まりそうな場所  |
| アクションカード  | アイデアなどのアクション               |
| 思わず多くの人が関わりたくなる<br>波及効果の高いアクションを作る<br>団地を活用した100部屋の<br>集合住宅の子供食堂を作る |                            |

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

- ・地域課題を共創により解決を目指すワークショップカードを活用して、セミナー等が活性化して、より市民活動が充実し輝くまちになるきっかけを目指す
- ・社会課題を解決するために市民活動に参加したりや、起業する機運が高まり、課題解決型セミナーの開催も増えている。
- ・市外の参加者や購入者を増やし、学生さんのデザインした深海魚とともに沼津をPRすることで、より沼津に関心をもってもらう

|      |   |         |                         |
|------|---|---------|-------------------------|
| 成果指標 | ※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。<br>・セミナーの参加者数<br>・SNSのアクセス数 | 指標の検証方法 | ・参加者へのアンケート<br>・アクセスの解析 |
|------|---|---------|-------------------------|

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

|            |  |
|------------|--|
| 社会的<br>必要性 | ※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。<br>ワークショップや市民活動が盛んなことが、あまり市内外に知られていないので、沼津の宝である深海魚を、学生がポップにデザインしたものをカード化することで、セミナー等でも触れてもらい知ってもらうきっかけとする。  |
| 地域性        | ※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。<br>きっかけは沼津市のセミナーに参加してワークショップを体験した事。個人課題を解決する活動の方向性を考えるよいセミナーで、そこで体験したワークショップを沼津の宝である深海魚をデザインしてカード化することで、もっと沼津をPRして、広げることにつながる。  |
| 独創性        | ※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。<br>沼津に関わる学生が生の感覚で楽しんでやることから始まる新しい企画。深海魚も写真ではなく、学生のデザインでやるところがポイント。   |
| 実現性        | ※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。<br>きっかけとなった沼津市のセミナーの講師の中川先生の全面協力の元、実施。カードをリニューアルし、再度お招きしてセミナーを実施。マチカツに絡んでいる団体、新たな課題を模索する地公体、事業者などに声をかけ体験してもらう。また、参加者向けのお試し販売も実施。   |
| 発展性        | ※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。<br>まず初年度は、カードの作成とセミナーを実施しお試し販売まで目標に活動。その後ネット販売開始。将来的にふるさと納税も視野に。カードを使ったワークショップを単独で開催し、他のセミナーとの協力開催を目指す。また、深海魚は沼津の宝で、デザインした深海魚のイラストが沼津の深海魚関連の土産のデザイン等に採用されるといった展開も期待できる。 |

◎次年度以降の活動予定

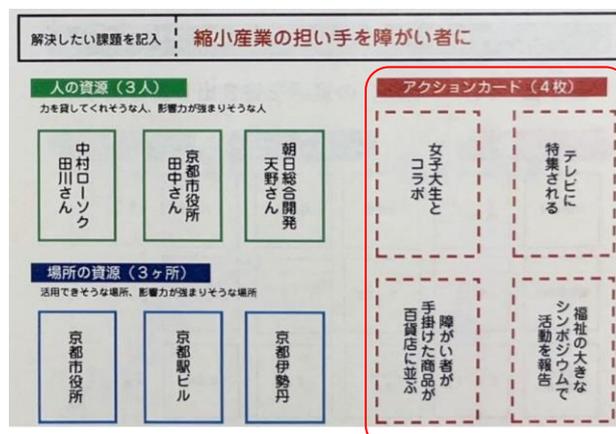
※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今後の活動予定

令和6年度

カードを作成し実際にワークショップを開催する。来年に向けて、他のセミナーと連携できるよう営業を開始。

- ・市内にてセミナーを実施
- ・ワークショップカードのリニューアル
- ・ワークショップカードの試験販売
- ・裏面無地バージョンも作って、他のキャラ等とのコラボも模索



人と場所は無地カードに参加者が記入

アクションカードを52枚作製

令和7年度

若い人達もまちづくり、地域課題に巻き込んでいく活動も開始。自分たちでワークショップカードを活用したセミナーを開催したり、他のセミナーなどとコラボして、ワークショップカードを活用した時間を他のセミナーなどでも実施させてもらえるよう活動。沼津のPRにもつながるよう、沼津市外で開催されるセミナーにも参加していく。

- ・市内外のセミナー等での活用
- ・ワークショップカードの本格販売、ネット販売
- ・深海魚キャラの他商品とのコラボ